

法人（事業所）理念		「にこにこえがお・げんきいっぱい・みんないっしょ」										
支援方針		日常生活における基本的な動作の習得や自立に向けたサポートを行う。 小集団での活動を通して、コミュニケーションや社会性の向上を図る。 遊戯療育・感覚統合療育・自立課題等、一人ひとりに合わせた支援を実施し、個別能力の向上を図る。										
営業時間		休校日 平日	10 12	時	00 30	分から	16 17	時	00 30	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康管理（毎日の体温チェックや心身の健康観察）、食事・排泄等の基本的な生活動作の習得支援（時間ごとの誘導、視覚ツールの使用、Uコップ等個々に合わせた食具の導入、食器具の操作練習、吹くトレーニング、排泄トレーニング、着脱トレーニング）、身だしなみのチェック（鏡やチェックリストの使用）、衛生管理（うがい・手洗い等の習慣化）、荷物や服の管理支援、日常生活スキル獲得に向けた支援（洗濯、料理、掃除）、安全教育（防災や交通安全について学ぶ機会を提供する）、パーテーションを使用した環境調整										
	運動・感覚	前庭覚や固有覚へのアプローチ（オーシャンスイング・バランスボード・ビジョントレーニング・サーキット・ダンス・ひもひき・トランポリン等） 触覚や視覚・聴覚へのアプローチ（ボールプール・プロジェクションマッピング・スライム遊び・素材遊び・新聞紙遊び・砂遊び・氷遊び・楽器遊び・光遊び等） 微細運動（ボタン・洗濯ばさみ・ねじ・はさみ・ボール・キャップ・おえかき・つみき・ビーズ・手芸等）、複数の刺激の遊び（〇〇しながら◇◇する）										
	認知・行動	認知スキル向上をサポート（マッチング・プットイン・型はめ・ひもたぐり・はんこおし・お金の投入練習・空間認識トレーニング・道具を使った物の操作・パズル）、特性に合った方法で継次処理・同時処理能力を伸ばす（手順書・視覚ツール・現物用意等）、行動療法（環境を調整し、望ましい行動の提示や促しを行う）、学習支援（宿題・ワーク） 問題解決能力の向上をサポート（創作活動や日替わり活動、イベント活動等で様々な経験を増やす）、スケジュールやタイマーを使った支援										
	言語 コミュニケーション	受容言語の支援（読み聞かせ・紙芝居やマジックショー等の座って聞く見る時間の提供・視覚ツール・少人数でのテーブルゲーム）、 表出言語の支援（口腔トレーニング・カード・感情表現ことば・ボックス・あいさつ練習・ジェスチャー遊び・お誕生日会等での発表）、 読み書き（絵本や紙芝居・文字カード・運筆プリント・習字硬筆・文章ワーク）										
	人間関係 社会性	遊びの発達段階に応じた遊びの提供、お友達との適切な関わり方の学びをサポート、余暇の過ごし方支援、自己理解とコントロールの支援 地域社会でのルールやマナーの学習を支援（あいさつ・公共交通機関の使い方・ヘルプカード・ゴミひろいや分別の学習・地域のお散歩・外食やお買い物時の支援等） 複数人で協力し合う活動の提供（お菓子作り・創作・協力ゲーム等）										
家族支援		様々なテーマの保護者会を実施（2～3か月に1回開催）。 毎年2月に懇談会を実施し、情報共有や相談の機会を確保する。 定期面談・必要に応じて事業所内相談や家庭相談を実施。						移行支援		自立に向けた個別課題を提供（封筒枚数数え・シュレッダー・梱包等）。 外出活動を通して、自己決定支援や応用力の向上を図る。 学校や関係機関と連携し、引継ぎを行う。		
地域支援・地域連携		公園や児童館、図書館等、地域の公共施設を利用する。 地域のボランティアの方々や自治会、学校、福祉施設等との交流を図る。 SNSにて活動を発信することで、地域の理解を広める。						職員の質の向上		定期的な研修や事例検討、会議等を通して、一人ひとりの特性の理解や実践的スキルの獲得を目指す。知識のアップデートや専門性を高めるため、毎年1日勉強会を開催。職場環境の改善やメンタリング制度、評価制度の導入。		
主な行事等		ワークショップ・就労訓練・就労体験・特化プログラム（毎月1回）、保護者会（2～3か月に1回）、懇談会（毎年2月に開催） イベント（お花見・動物園やレオマワールド等の遠足・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・映画鑑賞会、味覚狩り、その他季節の行事等）										